

## 来年の議案にそのまま使える背景・目的

### 背景 カarbonニュートラルを“理解”から“行動”へ転換する

地球温暖化は、環境問題にとどまらず、社会や経済、さらには私たちの暮らしにまで影響を及ぼす深刻な課題です。一方で、カーボンニュートラルという言葉は知っていても、多くの市民にとって具体的な行動につながりにくい現状があります。だからこそ青年会議所がカーボンニュートラルに取り組み、運動を展開することで、市民が環境問題を自分事として捉え、日常の中で環境に優しい行動が当たり前になる習慣が根付いている状態にする必要があります。

### 目的 家庭発、日本全体を動かす環境アクション

カーボンニュートラルに対する取組みを家庭から各地域へと広げ、一人ひとりが自分にもできるという確信をもつことで、それぞれの地域から幸せで環境に優しい社会へと変えていくことを目的とします。

### 運動手法

#### ① 1日200gのCO<sub>2</sub>削減運動

まずは、身近な行動のCO<sub>2</sub>削減効果を知り、その取組みを周囲に共有することの大切さを、講演会やワークショップを通じて伝えていきます。車移動を控える、節電、ごみの分別など、自分なりの「1日200gのCO<sub>2</sub>削減」を目標に設定し、小さな行動を積み重ねていきます。

#### ② 体験型学習によるカーボンニュートラル理解促進

「カーボンニュートラル=難しい」というイメージを変えるため、楽しみながら学べる場をつくります。脱炭素ボードゲームやカーボンニュートラルに関わるワークショップを通じて理解を深めます。必要に応じて専門講師も招き、実践的な学びにつなげます。

#### ③ 地域連携と発信によるカーボンニュートラル推進

一人の取組みで終わらず、地域全体の行動へと広げていきます。企業・自治体・学校などと連携しながら、環境に配慮した行動を日常の選択として定着させます。SNSや地域メディアを活用して実践や成果を発信し、環境に良い行動は、家計や暮らしにもプラスになるという共感を広げ、地域全体の行動変容につなげます。

### こんな地域に向いてる 地域の未来に危機感を持ち、次世代への継承を志向する地域

次世代へ豊かな自然や産業を引き継いでいきたいという想いを共有しながら、住民や事業者が一体となって持続可能な取り組みを進めていくきっかけを求めている地域に向いています。

### この運動をするとあなたの地域はどう変わる？ 挑戦が共有され、行動と協働が生まれる地域になる

地域に根ざした環境への関心や危機感が、具体的な行動へとつながっていきます。CO<sub>2</sub>削減量などの成果を可視化し、家庭や事業者が目標を持って継続的に取り組むことができます。その結果、環境配慮が特別な活動ではなく、日常の選択として根付き、持続可能な地域づくりが着実に前進していきます。

### Point 運動構築におけるアドバイス

- ・ 地域の企業・自治体・教育機関との共通の課題・目的を持っている団体と共催をおこなってみよう。
- ・ 環境活動に積極的な地元企業、金融機関、スタートアップ支援機関、大学・専門学校に話を聞きに行こう。
- ・ CO<sub>2</sub>排出量は可視化できます。
- ・ 家庭の行動につなげる仕掛けを作りましょう。
- ・ ターゲットに「家族」も入れてみよう。

### Information

当会議では、こんなお手伝いができます！  
・カーボンニュートラルの事業をLOMでしたい。  
・カーボンニュートラルについて詳しい人を紹介してほしい。  
・脱炭素ボードゲームの講師を探している。

公益社団法人日本青年会議所  
地域開発会議  
担当：塚越 一太郎  
TEL：080-3313-5248  
Mail：tukagoshiichi5290@gmail.com

### gian pocket

誰でも地域にあった運動の構築ができる！ **gian pocket**  
推進議案のチェックはこちらから！

JCI Japan  
Junior Chamber International Japan

